

## 「帰国の大迂回トラブル」

オーロラ生中継カメラの設置も一通り終わり、いよいよ帰国の日を迎えました。



最終日の夕食の時、10年以上お世話になった、パトリシアさんとラーシュさんに、額に入れた絵をプレゼントしました。



差し上げたのは、この絵です。夏のポルユス駅舎と花畑、それに停車している列車(インランズバーナン)です。パトリシアさんは、懐かしさからでしょう、泣きだしてしまいました。お二人は4月のはじめに、南の街に引っ越すことになっているので、この駅舎で会うのも、これが最後になりました。

ラップランド空港発は、午前6時です。車で4時にポルユスを出て、5時には空港に着いていました。写真は床屋さんではなく、空港のカウンターです。

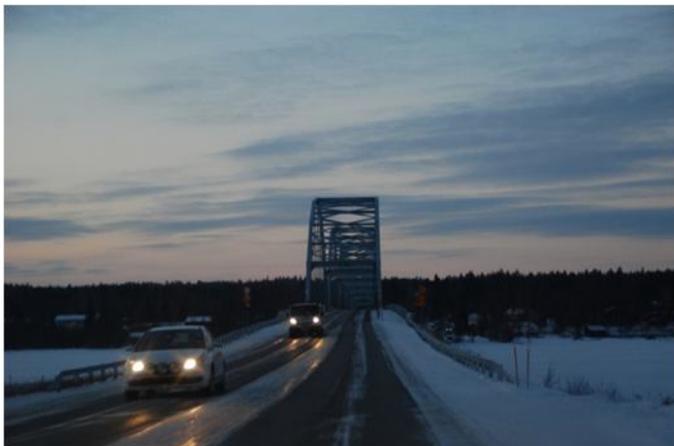


ところが、機体トラブルで飛行機はキャンセル!しかし、空港の女性職員が、びっくりするほど迅速に対応してくれて、別の航空会社の便を手配。更に200km以上離れたルーレオ空港まで、タクシーをチャーターしてくれました。タクシー運賃は実に14万円!しかし、これも全額、航空会社が払ってくれました。



凍った夜道を、時速100km以上でブツ飛ばして、無事に離陸前にルーレオ空港に着きました。





ルーレオに近づき、やっと夜が明けてきました。これはルーレオ川の橋梁です。



ルーレオは、イエリバーレよりも南の、大きな街で、空港もずっと立派です。ストックホルム便も、一日6往復もあります。私ははじめてこの空港に来ました。



写真が搭乗した、ノルウェー航空の飛行機です。遠くに見えるのは、SAS（スカンジナビア航空）の飛行機です。この便に乗れないと、予定の便で帰国できませんでした。親切すぎる空港職員さんと、長距離運転のタクシードライバーさんに、本当に感謝です！

最後に飛行機の中から、珍しい大気光学現象が見えました。太陽の両側に2個の太陽が見えます。極地方でよく見られる「幻日」です。旅行の最後に、自然は素晴らしいショーを用意してくれました。

